



平成27年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年11月11日

上場取引所 東

上場会社名 ルーデン・ホールディングス(株)

コード番号 1400 URL <http://www.ruden.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 西岡 孝

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長

(氏名) 佐々木 悟

TEL 03-5332-5374

四半期報告書提出予定日 平成27年11月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年12月期第3四半期の連結業績(平成27年1月1日～平成27年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年12月期第3四半期	2,132	27.7	40	△65.9	126	8.8	40	△60.7
26年12月期第3四半期	1,670	13.5	117	53.1	116	56.0	103	149.6

(注) 包括利益 27年12月期第3四半期 40百万円 (△60.8%) 26年12月期第3四半期 103百万円 (149.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年12月期第3四半期	4.06	3.90
26年12月期第3四半期	10.34	10.10

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年12月期第3四半期	2,053	1,779	81.6
26年12月期	2,148	1,684	76.1

(参考) 自己資本 27年12月期第3四半期 1,675百万円 26年12月期 1,635百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
27年12月期	—	0.00	—	—	—
27年12月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年12月期の連結業績予想(平成27年1月1日～平成27年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,718	9.2	75	△60.2	169	△10.3	76	△51.7	7.65

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年12月期3Q	10,011,300 株	26年12月期	10,011,300 株
② 期末自己株式数	27年12月期3Q	200 株	26年12月期	200 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年12月期3Q	10,011,100 株	26年12月期3Q	10,011,100 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通しは、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関しましては、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、政府経済対策の効果を背景に、雇用情勢や企業収益の改善等、一部に弱さも見られるものの、緩やかな回復基調が続いております。しかしながら、海外景気の下振れや国内生産の弱含み等があり、依然として先行き不透明な状況が続いております。

一方、当社グループの既存事業と密接に関連する新築マンション市場、特に首都圏マンション市場におきましては、平成27年9月累計の供給戸数が前年同期比4.2%減、また、9月度の契約率は70%を切る（いずれも民間調査機関調べ）等、当第3四半期連結累計期間において厳しい状況で推移いたしました。

このような状況のなか、マンションディベロッパー及び管理会社との取引関係のさらなる強化及び新規法人開拓の強化に注力してまいりました。

この結果、当社グループの当第3四半期連結累計期間における業績は、売上高2,132百万円（前年同期比27.7%増）、営業利益40百万円（同65.9%減）、経常利益126百万円（同8.8%増）、四半期純利益40百万円（同60.7%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### ①ハウスケア事業

ハウスケア事業に関しましては、密接に関連する新築マンション市場、特に首都圏マンション市場が厳しい状況で推移し、マンションディベロッパー及び管理会社との取引関係のさらなる強化及び新規法人開拓の強化に注力いたしましたが、厳しい状況で推移いたしました。

以上により、当第3四半期連結累計期間におけるハウスケア事業の業績は、売上高687百万円（前年同期比15.3%減）、営業利益118百万円（同41.1%減）となりました。

#### ②ビル総合管理事業

ビル総合管理事業に関しましては、更なる顧客満足度の向上及び堅実な収益獲得を図りましたが、既存物件の減額や現場人件費の増額等があり、厳しい状況で推移いたしました。

以上により、当第3四半期連結累計期間におけるビル総合管理事業の業績は、売上高828百万円（同14.5%増）、営業利益39百万円（同26.1%減）となりました。

#### ③総合不動産事業

総合不動産事業に関しましては、新たな物件の仕入れに苦戦しておりましたが、所有物件の売却がほぼ予定通りに進み、比較的順調に推移いたしました。

以上により、当第3四半期連結累計期間における総合不動産事業の業績は、売上高616百万円（同356.5%増）、営業利益47百万円（前年同四半期は営業損失11百万円）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は1,753百万円となり、前連結会計年度末に比べ186百万円減少いたしました。これは主に現金及び預金が820百万円増加したことなどによる一方、販売用不動産が445百万円、短期貸付金が474百万円、未収入金が140百万円減少したことなどによるものであります。固定資産は前連結会計年度末に比べ90百万円増加いたしました。これは主にその他が96百万円増加したことなどによるものであります。

この結果、総資産は2,053百万円となり、前連結会計年度末に比べ95百万円減少いたしました。

#### (負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は255百万円となり、前連結会計年度末に比べ176百万円減少いたしました。これは主に未払金が138百万円減少したことなどによるものであります。固定負債は18百万円となり、前連結会計年度末に比べ14百万円減少いたしました。これは主にその他が14百万円減少したことなどによるものであります。

この結果、総負債は273百万円となり、前連結会計年度末に比べ190百万円減少いたしました。

#### (純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は1,779百万円となり、前連結会計年度末に比べ95百万円増加いたしました。これは主に四半期純利益40百万円及び新株予約権が54百万円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は81.6%（前連結会計年度末は76.1%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、本日（平成27年11月11日）公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当していませんが、当第3四半期連結会計期間において、当社の連結子会社である株式会社ルーデン・ビルマネジメントが、株式会社ツーエムの株式を取得し、子会社化（当社の孫会社化）した事に伴い、当該孫会社を連結の範囲に含めております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	422,997	1,243,106
受取手形及び売掛金	260,735	247,216
商品及び製品	331	344
販売用不動産	540,391	94,964
仕掛販売用不動産	65,505	—
仕掛品	—	3
原材料及び貯蔵品	2,435	2,570
前渡金	64,045	112,732
短期貸付金	474,364	—
未収入金	173,072	32,109
その他	14,198	20,615
貸倒引当金	△78,231	△62
流動資産合計	1,939,845	1,753,599
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物及び構築物	88,866	93,754
減価償却累計額及び減損損失累計額	△76,053	△77,801
建物及び構築物(純額)	12,812	15,952
機械装置及び運搬具	899	4,917
減価償却累計額及び減損損失累計額	△524	△2,656
機械装置及び運搬具(純額)	374	2,261
工具、器具及び備品	9,099	11,412
減価償却累計額及び減損損失累計額	△7,810	△9,404
工具、器具及び備品(純額)	1,288	2,007
土地	3,248	3,248
リース資産	15,078	6,760
減価償却累計額及び減損損失累計額	△8,304	△4,089
リース資産(純額)	6,773	2,670
有形固定資産合計	24,497	26,139
<b>無形固定資産</b>		
のれん	12,552	4,482
その他	403	403
無形固定資産合計	12,955	4,886
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	30,489	30,500
出資金	82,181	82,181
破産更生債権等	620,326	621,938
損害賠償請求権	—	70,057
その他	86,471	183,467
貸倒引当金	△620,404	△692,029
投資損失引当金	△27,713	△27,713
投資その他の資産合計	171,349	268,401
固定資産合計	208,803	299,428
資産合計	2,148,649	2,053,027

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	18,540	27,303
未払金	260,145	122,099
未払法人税等	40,470	9,381
預り金	9,912	17,400
賞与引当金	—	4,492
売上値引引当金	344	100
アフターコスト引当金	547	749
その他	102,454	74,149
流動負債合計	432,417	255,676
固定負債		
退職給付に係る負債	6,104	6,575
その他	26,076	11,577
固定負債合計	32,181	18,153
負債合計	464,598	273,829
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,782,061	1,782,061
資本剰余金	314,414	314,414
利益剰余金	△461,013	△420,389
自己株式	△290	△290
株主資本	1,635,172	1,675,796
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	174	186
その他の包括利益累計額合計	174	186
新株予約権	48,704	103,215
純資産合計	1,684,050	1,779,197
負債純資産合計	2,148,649	2,053,027

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年9月30日)
売上高	1,670,472	2,132,513
売上原価	879,339	1,379,183
売上総利益	791,132	753,329
販売費及び一般管理費	673,638	713,283
営業利益	117,494	40,046
営業外収益		
受取利息	17,764	11,468
受取配当金	24	25
貸倒引当金戻入額	—	78,215
その他	3,062	2,815
営業外収益合計	20,851	92,524
営業外費用		
支払利息	252	135
貸倒引当金繰入額	17,804	—
消費税控除対象外	3,314	5,452
その他	459	241
営業外費用合計	21,831	5,829
経常利益	116,515	126,741
特別利益		
違約手数料戻入益	15,800	—
特別利益合計	15,800	—
特別損失		
固定資産除却損	13	—
貸倒引当金繰入額	—	70,057
特別損失合計	13	70,057
税金等調整前四半期純利益	132,302	56,683
法人税、住民税及び事業税	29,007	14,537
法人税等調整額	△180	1,522
法人税等合計	28,827	16,059
少数株主損益調整前四半期純利益	103,474	40,623
四半期純利益	103,474	40,623



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成26年1月1日 至 平成26年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成27年1月1日 至 平成27年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	103,474	40,623
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	254	12
その他の包括利益合計	254	12
四半期包括利益	103,728	40,635
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	103,728	40,635

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成26年1月1日至平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ハウスケア 事業	ビル総合管理 事業	総合不動産 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	811,951	723,523	134,998	1,670,472	—	1,670,472
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	811,951	723,523	134,998	1,670,472	—	1,670,472
セグメント利益又は損失(△)	201,277	54,129	△11,769	243,637	△126,143	117,494

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△126,143千円には、のれん償却額△8,069千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△118,074千円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成27年1月1日至平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ハウスケア 事業	ビル総合管理 事業	総合不動産 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	687,524	828,682	616,306	2,132,513	—	2,132,513
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	687,524	828,682	616,306	2,132,513	—	2,132,513
セグメント利益	118,456	39,996	47,095	205,548	△165,502	40,046

(注) 1. セグメント利益の調整額△165,502千円には、のれん償却額△8,069千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△157,432千円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。